

電流センサーユニット CS-xx 説明書

±5A(CS-05) または ±30A(CS-30) の測定が可能な Logger308 用の直流電流センサーユニットです。（注： 交流の測定はできません）

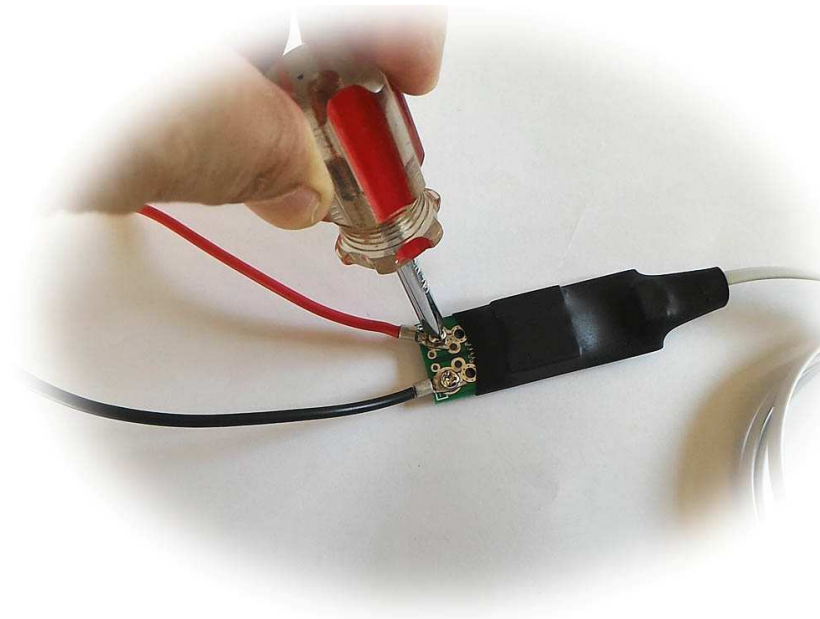
センサーユニットと Logger308 本体はシリアル通信でデータを送るのでケーブル長によるノイズの影響を受けません。 また測定対象は測定回路とホール素子によってアイソレートされています。

CS-xx は1チャンネル分の測定をおこないますので必要なチャンネル数をお求めください。

- センサーユニットのコネクタを Logger308 に接続します。
コネクタは写真のように根元を持ってしっかり奥まで押し込んでください。
右下がチャンネル1、左上がチャンネル8です。



- 電流センサーユニット先端の取り付け穴に測定する電流の線を極性に気をつけてビス止め、または半田付けします。
まずはビス止めで定格の 1/5 程度の電流を流して動作確認してください。
写真の上側がプラス、下側がマイナスです。 逆にすると測定電流の符号が反転します。



20A 以上の電流測定の際には半田付けか、または接触抵抗の低いコネクタ（DEANS T型コネクタなど）を半田付けしてお使いになる事を推奨します。

測定端子が露出していますので、ショートに注意して絶縁体の上でご使用ください。

- ◆ **ご注意** 本製品はホール素子センサーを使用しているため電気的にはアイソレートされていますが、磁気の影響を受けるため無電流、または測定電流が微弱な場合、近くに帯磁したドライバーやスピーカーなどがあると誤差が生じやすくなります。
特に電流が0のときは測定値が完全に0にならないことがあります。

■ ini ファイルの設定

1. Logger308 本体に CS-x x 電流センサーユニットが接続されていることを知らせるため SD カードの ET360.ini ファイルに以下の設定が必要です。

” CHn = CUR1” または ”CHn = CUR2” の行を追加

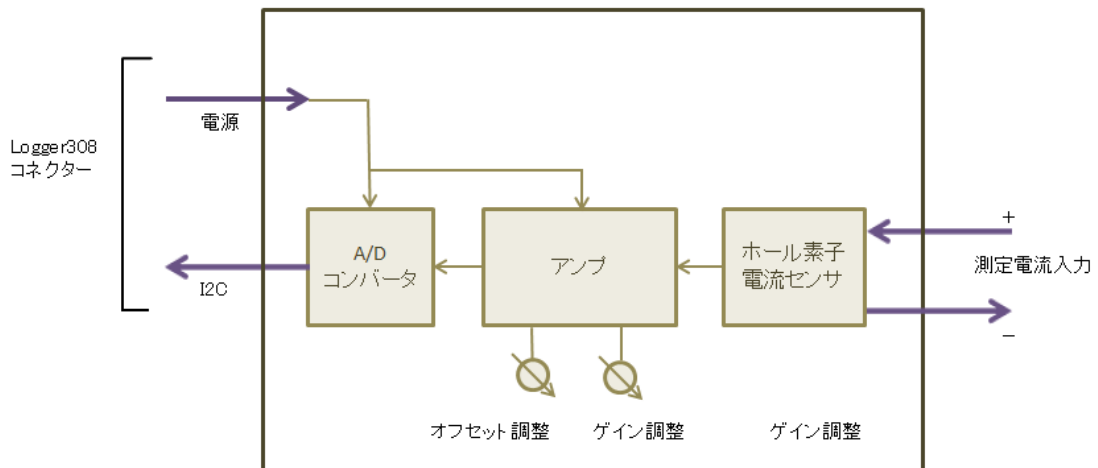
n は接続するチャンネル番号(1~8) CUR1 は CS-05、 CUR2 は CS-30 が接続されていることを示します。

例：チャンネル 3 に CS-30 なら “CH3=CUR2”

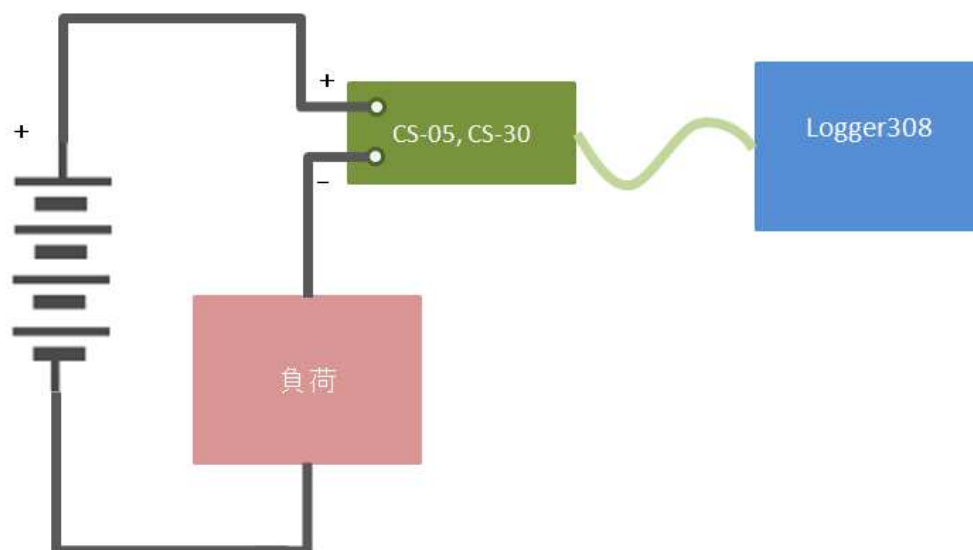
電圧センサーの特性と仕様

項目	値	条件
測定範囲	CS-05 ±5A CS-30 ±30A	
許容瞬間過電流	100A	1 パルス 100msec
分解能	12bit 2.5mA ステップ 14.6mA ステップ	
絶対誤差	±2.5%	
内部抵抗	1.2mΩ	
センサー部サイズ	82 (W) x25 (D) x10 (H)	
ケーブル長	約 1m	
コネクタ	日圧 XH-4 ピン	

CS-xx ブロックダイアグラム



CS-xx 配線図



この製品に関するお問い合わせは info@cyber-melon.com までご連絡ください。

サイバーメロン

<http://www.cyber-melon.com>